

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 349
(平成31年度 第1号)

平成31(2019)年5月15日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA
Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA
Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509
E-mail : bogota01@bogotaacj.com
URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 山中 史章

平成31年度、ボゴタ日本人学校の教育活動が始まりました。本年度は、小学部に6人の1年生を迎え、小学部から中学部には、1名が進級して7人の新入生を迎えることができました。

4月現在、1年生6名、2年生2名、3年生1名、4年生2名、5年生1名、6年生1名、中学1年生1名、中学2年生1名の総勢、15名で教育活動がスタートしました。特に、中学生の2人の存在が大きく、児童生徒会の会長である北林愛子さんと委員会の委員長である江森真菜佳さんが、本校を引っ張っていってくれます。(5月に1年生が1名転入予定です)

子どもたちが、自分の学校であるボゴタ日本人学校を良くしていきたいと思うことが大事だと思います。子どもたちの動きを期待しています。



私は、ボゴタ日本人学校に通ってくる子どもたち一人一人が、日本人学校での経験を糧に、自分の人生をより良く生きて欲しいと思っています。

私は、始業式の時に、子どもたちに「夢から始まる やる気と自信！！」という言葉を送りました。これから子どもたちが人生を送っていくときに、先ず「夢や目標」をもてるかどうか大事だと思っています。よく夢は叶わないとか、自然に任せておくことが一番だという人もいますが、私は、たくさん子どもたちを見てきて、小学生や中学生の時に、自分はこんな自分になりたいとか、こんな仕事に就くことが自分の夢だと言える人は、夢を叶えている人がたくさんいることを見てきました。

小学生の時に、オリンピックの水泳選手になりたいと卒業文集に書いた背泳ぎの長谷川純也選手は、私が勤務していた島田市立島田第四小学校の卒業生ですが、リオデジャネイロオリンピックで100m背泳ぎの選手として活躍しました。同じようにパティシエになりたいと卒業文集に書いていたTさんは、大人になってパティシエになりました。また、大人になったら料理人になりたいという夢を書いていたS君は、今は自分の店をもって料理人として活躍しています。

ボゴタ日本人学校の子どもたちには、将来の夢や目標に向かってがんばって欲しいと思います。

平成31年度の、ボゴタ日本人学校の学校教育目標は、次の3つです。

- 相手の立場を尊重し、協力する子ども
- 自ら学びよく考える子ども
- 心豊かにたくましく生きる子ども

このような姿の子どもたちを、教職員一同で育てていきたいと思っています。ご支援の程、よろしく願いいたします。

【着任者の紹介】 本年度は、新しく4名が赴任いたしました。

山中 史章 校長

静岡県島田市より、赴任いたしました。理科の専門家です。よろしくお願いいたします。

松岡 賢 教諭

大阪府より、赴任いたしました。体育の専門家です。1年生の担任です。よろしくお願いいたします。

田島 優介 教諭

静岡県富士宮市より、赴任いたしました。理科の専門家です。5・6年生の担任です。よろしくお願いいたします。

細田 彩芽 教諭

群馬県より、赴任いたしました。英語とドイツ語の専門家です。中学部の担任です。よろしくお願いいたします。